



行政関連施設・コミュニティ施設整備計画

① 整備の基本方針は？

市民の活動舞台となる

施設の整備を

豊かでゆとりある市民生活のために有効に機能する、公共的性格を持った施設を積極的に整備していきます。

情報発信基地となる

施設の整備を

常住人口が伸び悩む中で都市活力を維持していくためには、市外

から何らかの目的を持って大館を訪れる交流人口を、積極的かつ戦略的に誘致していくことが必要です。このため、流動化基地あるいは情報発信基地としての性格を持った施設の整備を推進していきます。

トータルケアを実現する

施設の整備を

大館では、今後、高齢化社会がさらに進行することが予測されて

市民の憩いの場・

安全確保の場となる

施設の整備を

市民生活にゆとりを生み出す憩いの空間、あるいはスポーツ、レクリエーションのための空間、ま

た災害時に安全性が確保できる空間を積極的に整備していきます。

生活環境を改善する

施設の整備を

市民生活の基盤である下水道等の処理施設を整備し、健全な生活環境を創出します。

都市計画マスタープランをまとめた冊子を市役所都市開発課、各出張所、中央・花矢図書館に備え付けています。どうぞ自由にご覧ください。

をどうするの？

a. シビックセンター (にぎわい拠点)

現市庁舎は、昭和29年建設後、数度の増築を重ね迷路のような状況になっています。また、事務量の増加による内部空間の狭隘化や駐車場不足もあり、市民の皆さんに不便をおかけしています。

平成13年には市制50周年を迎えることから、その記念事業として現市庁舎の建て替えを進めます。建設場所は平成13年までに選定し、その後早期に改築事業を実施していきます。

新市庁舎には、21世紀の大館行政の新しい姿勢、態度を示すことが求められます。また、機能だけでなく、空間的にも市民の誇りとなるような施設にしなければなりません。そこで、市民価値観重視型の発想に基づいて、「市民活動の中心」として積極的に活用される「大館シビックセンター(仮称)」の建設を目指します。

シビックセンターとは、行政機能だけに留まらず、市民の利用需要に積極的に応える公共公益的な機能が複合される施設であり、結果的に市民のにぎわいの場をつくり出す装置となります。そのため、実現にあたっては、企画段階からの市民の積極的な参加が期待されます。

b. 教育・文化

- ▼秋田桂城短期大学を設置します(4月開学予定)。
- ▼大館地域職業訓練センターを設置します。
- ▼大館郷土博物館を公開します(4月オープン予定)。
- ▼観光物産施設の整備を推進します。

大館の観光・物産を紹介し、販売も行う観光物産施設を整備します。市内のどこか1カ所に集約的に建設するという発想ではなく、「多くの人が集まる別施設との複合化」という形で整備することによって、相乗的ににぎわいを形成します。

- ▼小学校の改築を推進します。

※雪沢小学校を7年度改築。現在、国道103号沿いの餌釣字前田地内に上川沿小学校の移転改築を計画中。